

複合アニオン化合物を用いた新機能性材料開発

複数のアニオンを同一化合物中に含む「複合アニオン化合物」が、新しい無機材料として注目を集めています。複合アニオン化合物は、異なる電気陰性度や分極率を持つ複数のアニオンの介在により、特異な配列秩序や局所構造、結晶構造が得られるため、従来の無機材料とは根源的に異なる革新的機能が現れることが期待できます。

光触媒特性、超伝導性、蛍光特性、イオン伝導性、強誘電性、熱電特性などが創発することが明らかとなって研究者コミュニティも広がっており、無機化合物における次世代の“機能の宝庫”となるポテンシャルを秘めています。

本シンポジウムでは、複合アニオン化合物による機能性材料開発の最新トピックについて、各分野の一線の研究者の先生方に講演していただきます。

主催：科研費新学術領域「複合アニオン化合物の創製と新機能」
9.5 新機能材料・新物性

日時：2019年9月19日（木）13:30～

招待講演：

今中信人（大阪大学）：複合アニオンを基軸とした
新しいイオン伝導性固体の創成

桑原彰秀（JFCC）：第一原理計算による複合アニオン化合物の
特異な配位環境の解明

生田博志（名古屋大学）：鉄ニクトゲン超伝導体の薄膜成長

大長久芳（（株）小糸製作所）：「混合配位子場」による
新規蛍光体の開発

岡研吾（近畿大学）：酸フッ化物におけるアニオン秩序と
機能の発現

後藤陽介（首都大学東京）：層状アンチモン酸セレン化物の
熱電輸送特性

世話人：荻野拓（産総研）、松石聡（東工大）、近松彰（東大）
笹川崇男（東工大）

問い合わせ先：荻野拓<h-ogino@aist.go.jp>